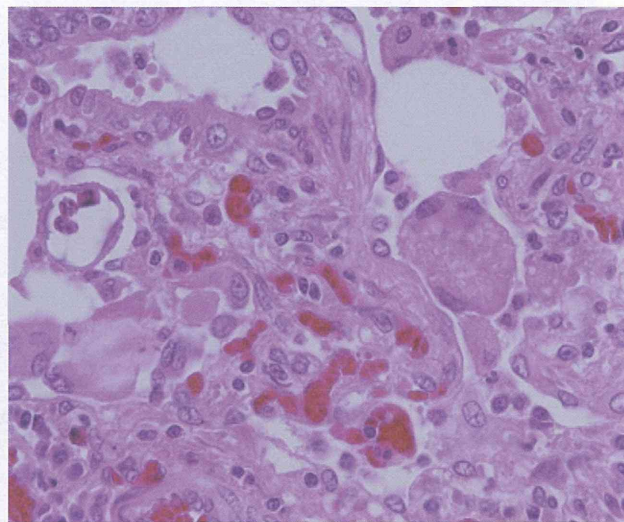
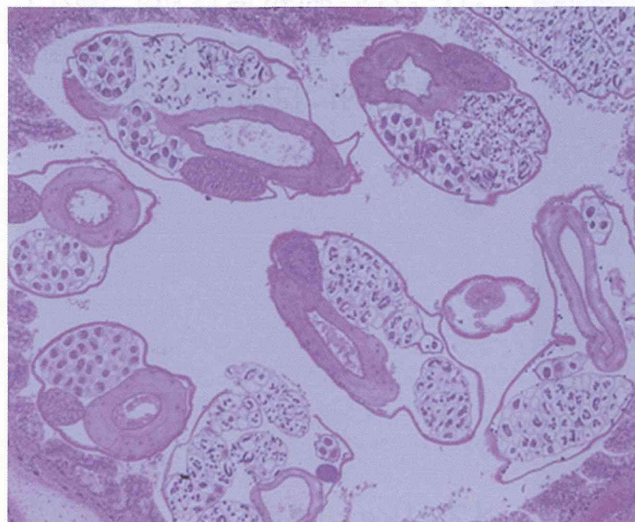
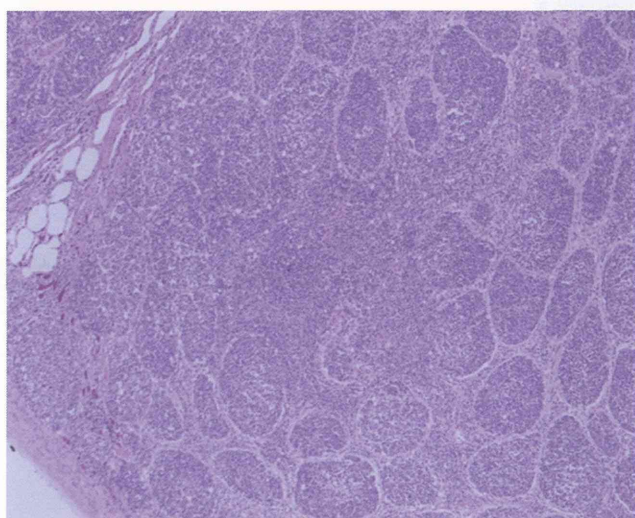


イノシシ 肺



オス 14kg 1歳

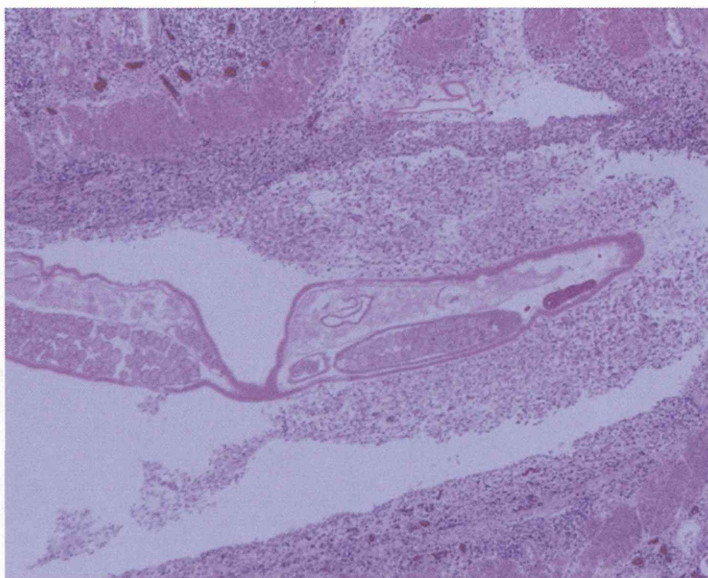
組織所見: 気管支内には肺虫多数寄生。周囲の肺胞内には子虫や虫卵が散在し、泡沫状マクロファージ、異物巨細胞、好中球の浸潤を認め、肺胞壁の破綻も伴う。



メス 40kg

組織所見: 気管支付属リンパ装置の濾胞過形成、肺胞内に肺虫寄生。

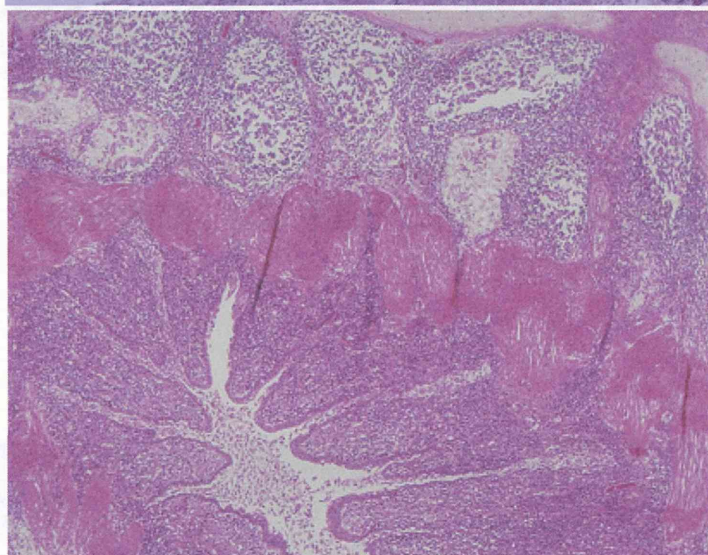
イノシシ 肺



メス 26kg 0.8歳

組織所見

・リンパ濾胞が反応性に増生し、
粘膜固有層には好酸球浸潤、
気管支内には肺虫寄生。



メス41kg 1.2歳

組織所見

・リンパ濾胞が反応性に増生し、
粘膜固有層には好酸球浸潤。

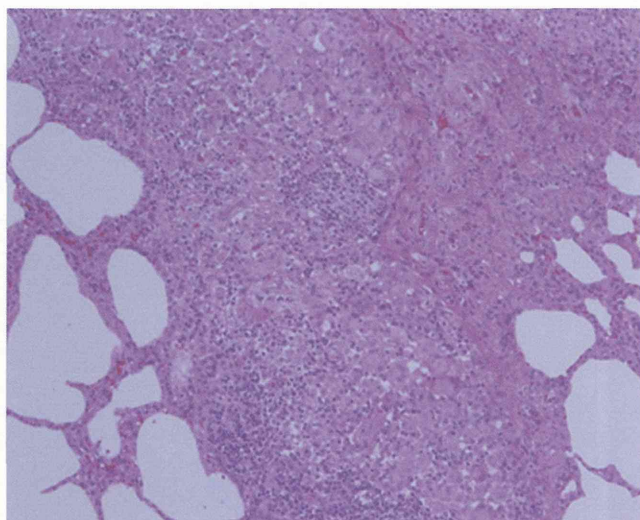


オス 25kg 0.5歳

組織所見

・気管支内に肺虫の虫体が充満。

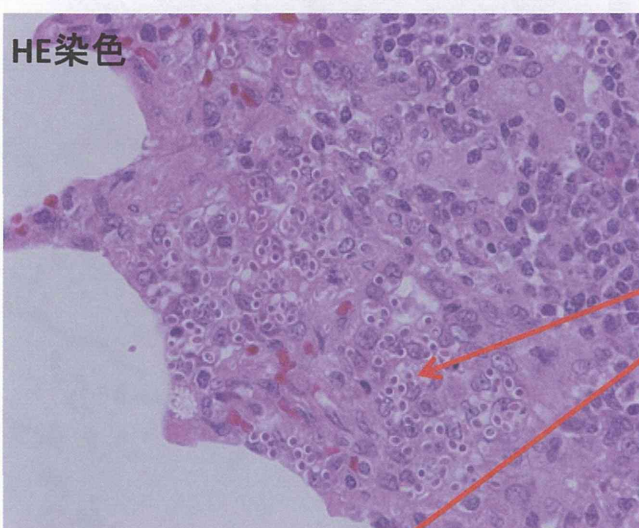
イノシシ 肺



オス 60kg

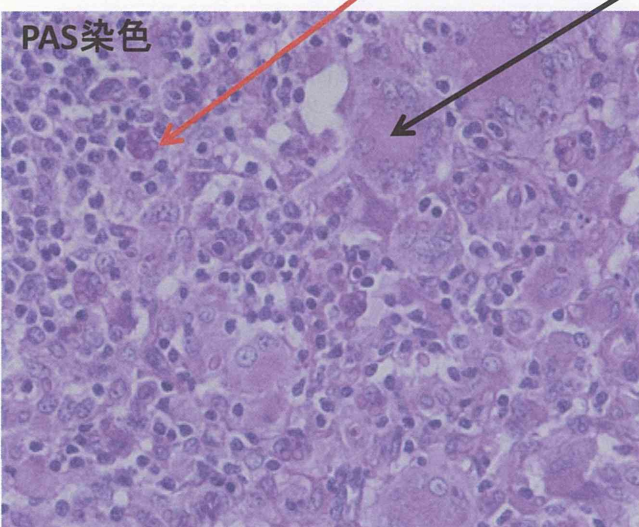
組織所見

・限局性ではあるが、肺胸膜直下から一部の肺実質内において、マクロファージや多核巨細胞、リンパ球の集簇を中心とした肉芽腫性炎病巣が広がり、炎症性に肥厚した肺胞壁に酵母様真菌が多数認められ、マクロファージによる貪食像も散見される。

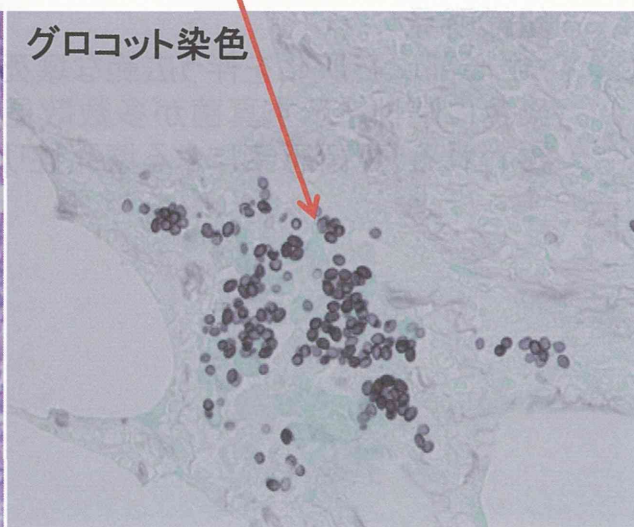


HE染色

これらの酵母様真菌はPAS染色陽性グロコット染色陽性。



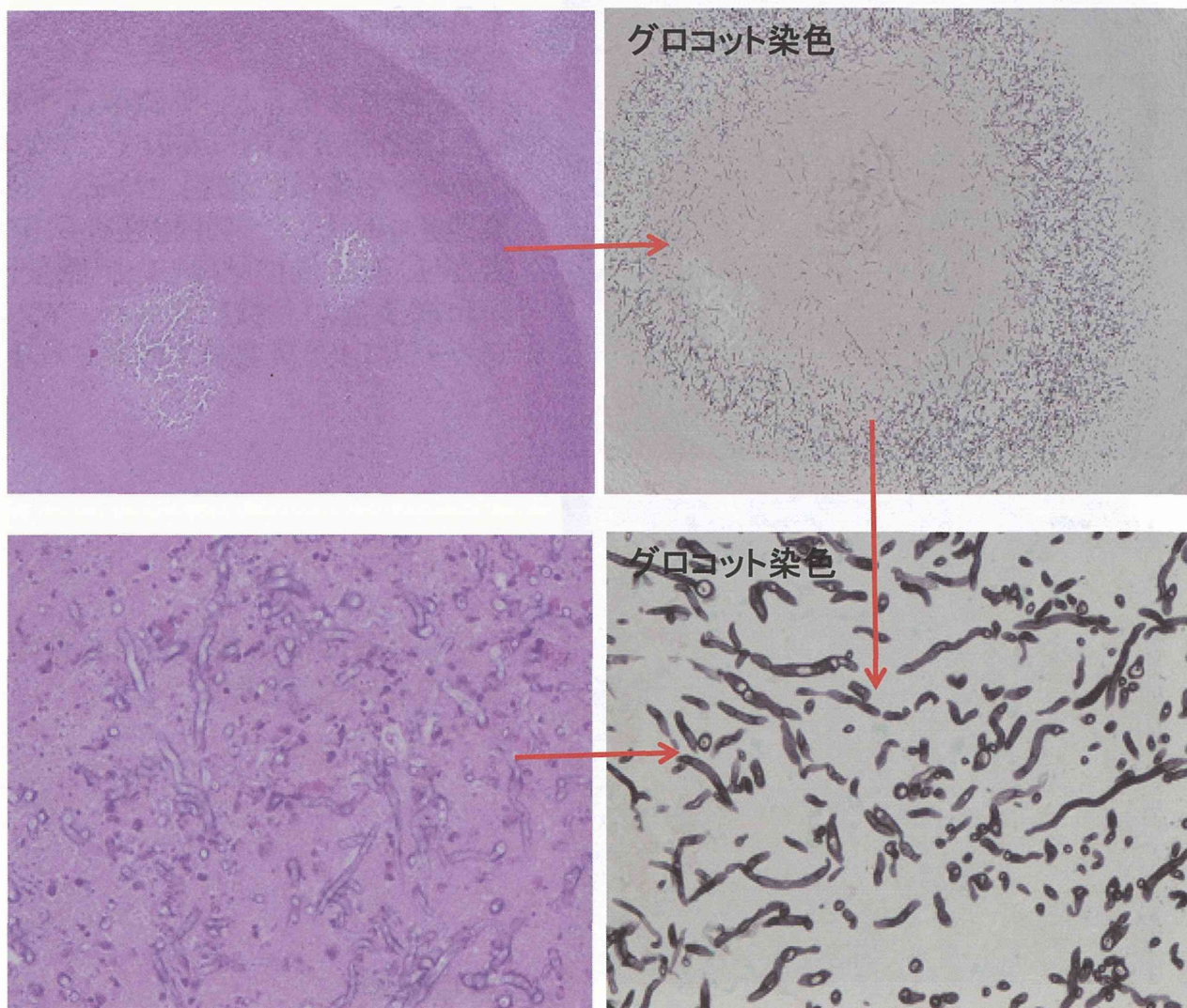
PAS染色



グロコット染色

多核巨細胞

イノシシ 下顎リンパ節



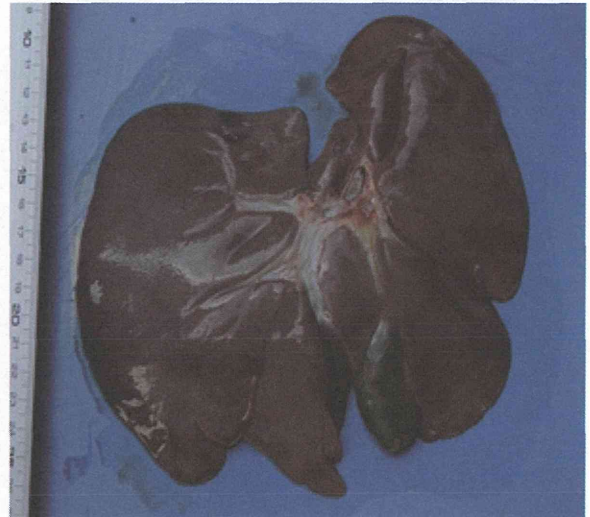
組織所見

・中心部に石灰化を伴う広範な壊死巣を認め、壊死巣外層にはグロコット染色に陽性を示す真菌が多数散見され、壊死巣周囲は炎症性退廃物で覆われる(真菌感染による壊死性リンパ節炎)。

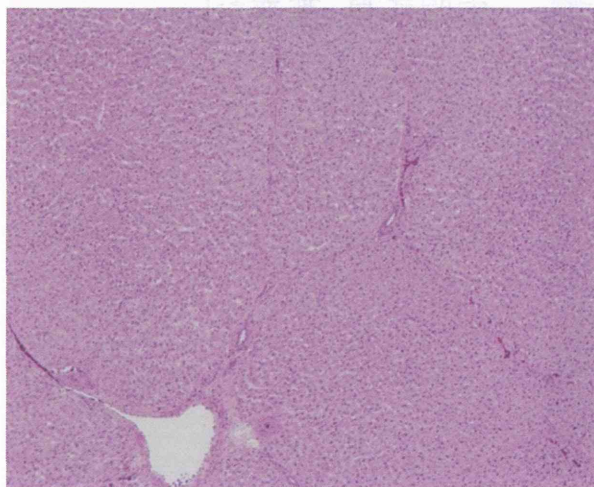
イノシシ 肝臓



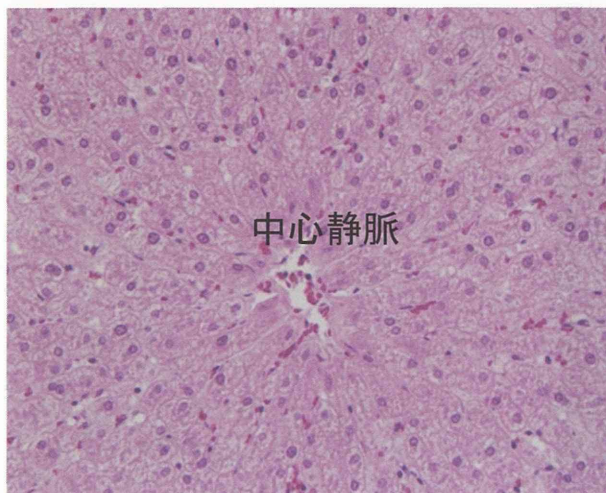
オス 推定25kg 横隔面
肉眼所見: 著変なし。



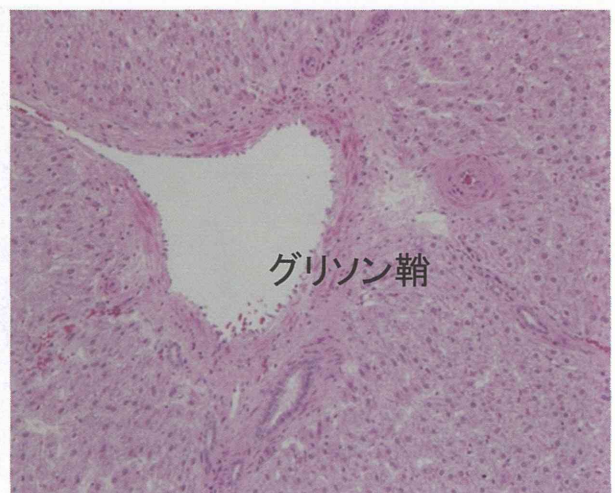
臓側面
著変なし。



同上
組織所見: 著変なし。
豚と同様、膠原線維性支持組織
が発達しているため、肝小葉構
造が明瞭である。

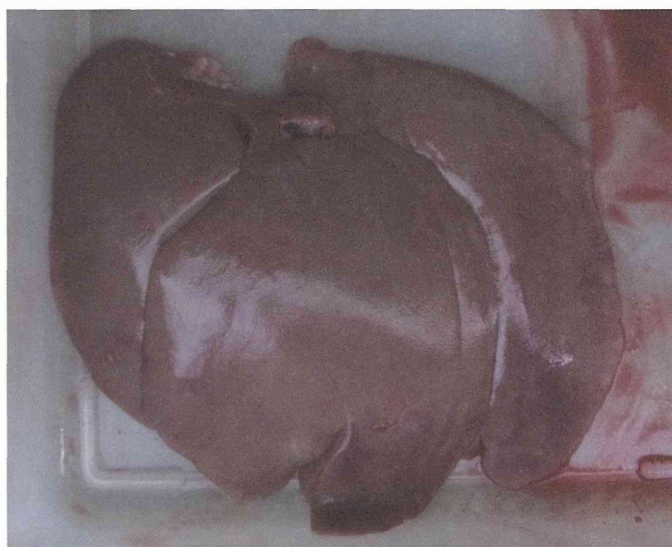


中心静脈

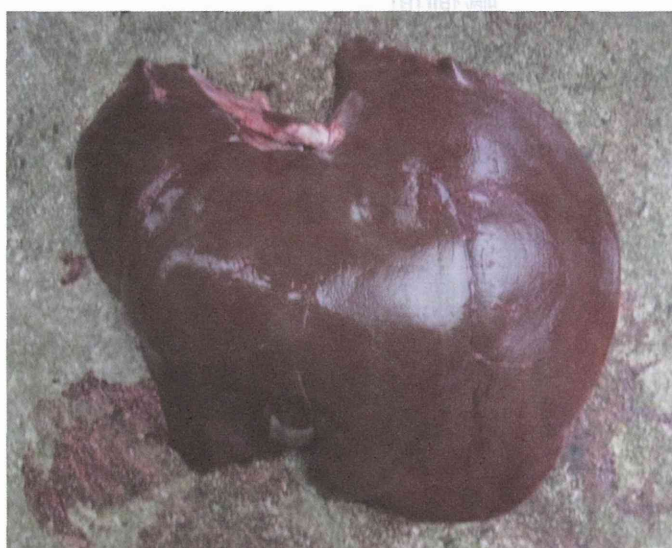


グリソン鞘

イノシシ 肝臓



メス 12.5kg
肉眼所見：著変なし。



メス 52kg
肉眼所見：著変なし。



同上 臟側面
肉眼所見：著変なし。

イノシシ 肝臓



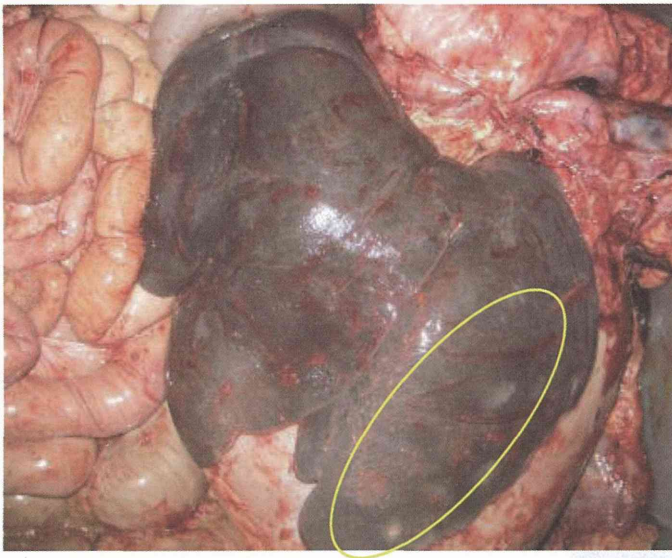
肉眼所見：肝被膜そぞう、繊維素付着
腎虫性腹膜炎。



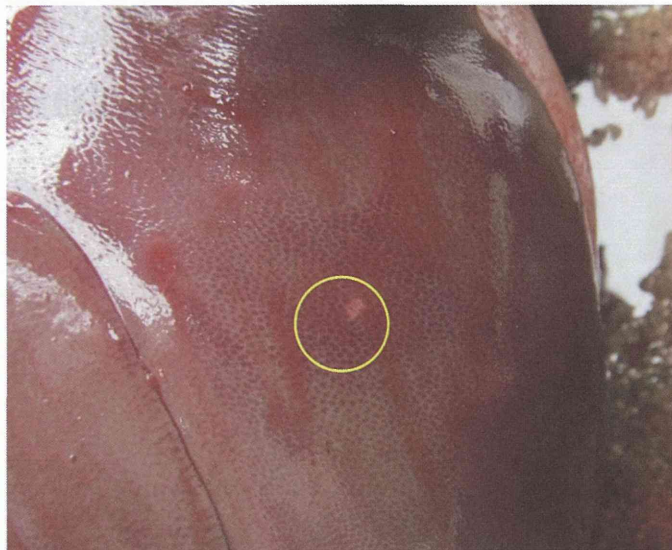
肉眼所見：肝被膜そぞう、繊維素付着
腎虫性腹膜炎。

対応：内臓廃棄

イノシシ 肝臓



メス 40kg
肉眼所見：白斑。



オス 25kg
肉眼所見：白斑。

対応：内臓廃棄



メス 23kg
肉眼所見：白い癒痕、寄生虫確認されず。

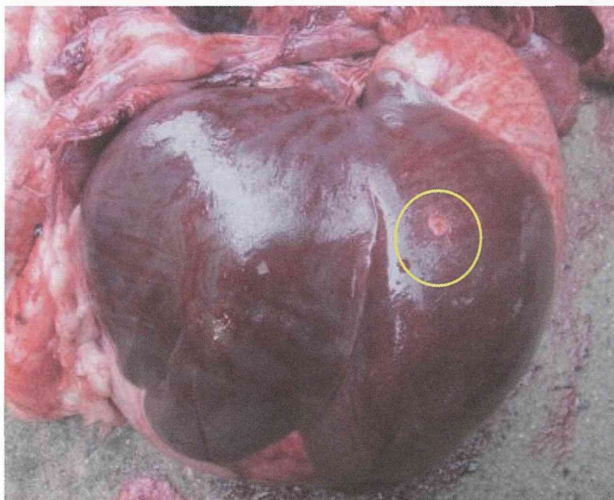


イノシシ 肝臓

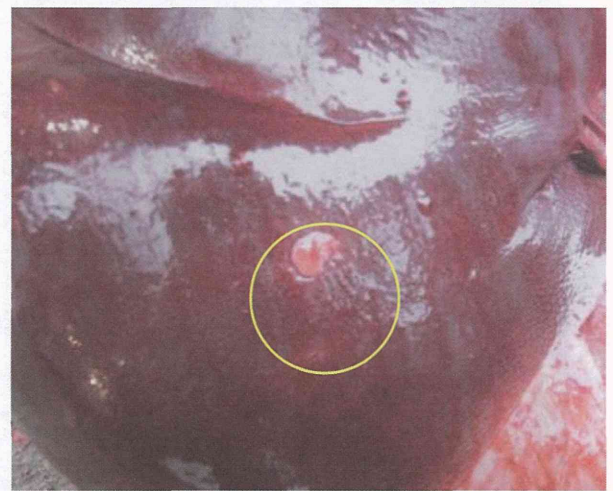
動物検疫所



メス 推定60kg 肉眼所見: 白斑。



メス 推定60kg 肉眼所見: 瘢痕病変。

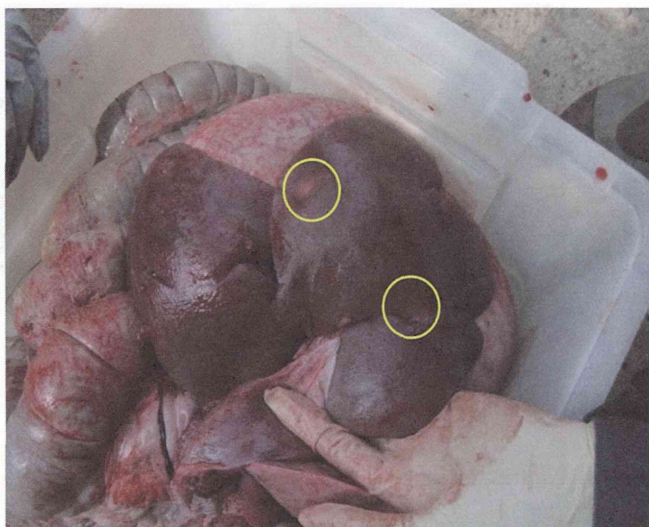


オス 推定30kg 肉眼所見: 白斑、肝蛭は確認できず。

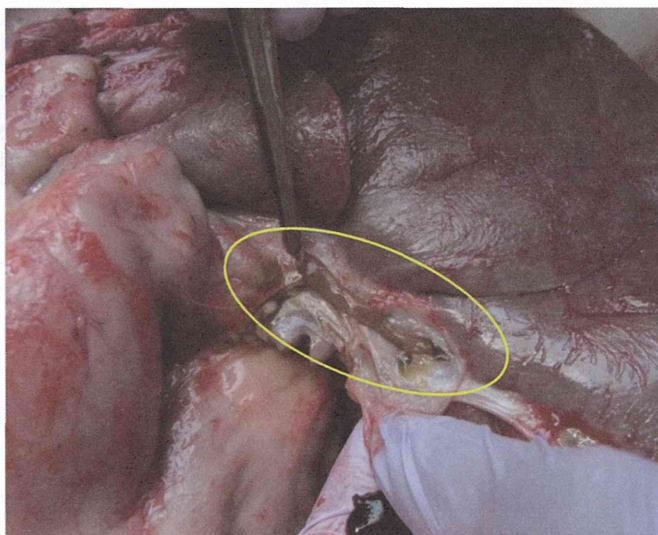
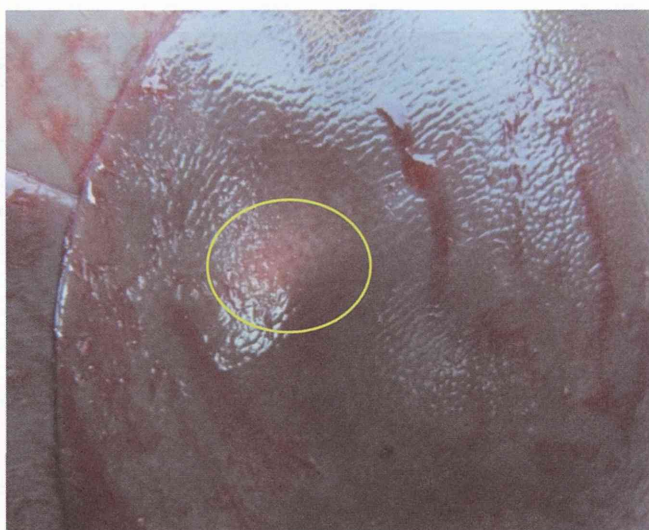


対応: 内臓廃棄

イノシシ 肝臓



オス 24kg
肉眼所見：白斑、肝蛭寄生。



対応：内臓廃棄

奉養館内 記録